

2月のお知らせ

今月はわんちゃんとチョコレートについてお話します

犬にチョコレートは危険！食べたときの中毒症状や 対処法について

犬にチョコレートは与えてはいけない食べ物として広く知られています。

そのチョコレートの主成分であるカカオには、「テオブロミン」というアルカロイドの一種である成分が含まれています。このテオブロミンが中枢神経や心臓、筋肉などに対し、強い興奮作用をもたらすのです。

犬ではこのテオブロミンの代謝が遅いため、ときには重篤な中毒症状を起こしてしまいます。

「軽度」の中毒症状

- ・嘔吐(おうと)
- ・下痢
- ・頻尿・失禁
- ・震える
- ・興奮して落ち着かない
- ・呼吸が荒い(パンティング)
- ・口の渇き(よく水を飲む)

「重度」の中毒症状

- ・ふらつく
- ・不整脈、頻脈
(心臓がバクバクと過剰に拍動)
- ・体温の異常な上昇(発熱)
- ・痙攣
- ・昏睡

今日のクーポン
ハープバック
1.0%OFF.

基本的に、チョコレートが犬の体内で吸収されてから現れるため、早くて4～5時間後から、少し長くても半日ほどすると犬に異変が起きることが多いようです。



食べてしまったら まずは動物病院へ相談！

♡今月のフォトブース♡

